



## よぼうちゅうしゃ 予防注射をするのはなぜなの

### びょうき きん か ちから 病気の菌にうち勝つ力をつけるため

よぼうちゅうしゃ  
予防注射というのは、ちから ひじょう よわ びょうき きん ちゅうしゃ  
力を非常に弱めた、病気の菌を注射するものです。

しかし、この菌は、体内に入っても、病気になることはありません。よぼうちゅうしゃ  
予防注射は、その力  
よわ びょうき きん からだ びょうき か ちから  
を弱めた病気の菌によって、体がその病気にうち勝つ力、つまり、ていこう力を体内に  
つくるためにするもので、この後、あつよ びょうき きん からだ なか はい  
強い病気の菌が体の中に入ってきてても、病気にならず  
にすむようにするためにするのです。

### よぼうちゅうしゃ ひ はい 予防注射をした日に、ふろに入っははいけないのは

しかし、いくらちから よわ びょうき きん ちゅうしゃ  
力を弱めた病気の菌を注射したといっても、そのときのからだ ちょうし  
体の調子によ  
つては、からだ びょうき きん ま ほんとう びょうき  
体がその病気の菌に負けて、本当にその病気になってしまうことがあるのです。  
とくに、ねつ  
熱のあるときなど、からだ  
体のていこう力が弱っているときには、ちゅうい ひつよう  
注意が必要です。こ  
のようなときには、よぼうちゅうしゃ  
予防注射をするべきではありません。

このように、よぼうちゅうしゃ  
予防注射をした後は、あと からだ びょうき じょうたい ちゅうしゃ  
体が病気になりやすい状態になっています。注射を  
した日はおふろに入っははいけないというのは、おふろに入ると、からだぜんたい  
体全体のはたらきが活発  
になり、びょうき きん かっぱつ びょうき  
病気の菌もいっしょに活発になるからで、病気になりやすくなるためです。

また、よぼうちゅうしゃ いがい ちゅうしゃ  
予防注射以外の注射をした場合でも、注射をすると、ひ ちゅうしゃ  
皮ふに、針の小さな傷がで  
きることになりますので、そこから、きん はい  
ばい菌が入ったりするのを防ぐため、「注射をした日  
には、おふろに入っははいけない」といわれるのです。（監修・保志 宏）

